

団体名		立山町		
《連絡先等》				
所在地	富山県中新川郡立山町前沢2440			
採用担当課	総務課			
電話番号	076-462-9964			
ホームページ	https://www.town.tateyama.toyama.jp/index.html			
《団体の紹介》				
団体の特徴・魅力等	立山町は、世界的な観光地である立山黒部アルペンルートを有し、標高3,000メートル級の山々が連なる雄大な立山連峰のふもとに位置しています。その豊かな自然の恩恵を享受できる一方で、役場庁舎は富山市中心部から車で30分以内という好立地。朝夕の通勤ラッシュ時でも渋滞の進行方向とは逆向きのため、富山市からもストレスの少ない通勤が可能です。実際に一般行政職196人のうち約6割が町内在住、約3割が富山市在住で、富山市からの通勤のしやすさが職員構成にも表れています。さらに県外出身の職員が10人おり、そのうち6人が「暮らしやすさ」を理由に立山町へ移住してきました。働きやすさと住みやすさの両方を実感できる職場です。 立山町は、小さな自治体だからこそ、住民一人ひとりの声に素早く寄り添えます。担当者が顔の見える距離で相談に応じ、地域行事や福祉、子育て支援など生活に直結するサービスをきめ細かく提供。自治会やNPO、事業者と連携し、地域の課題には柔軟かつ迅速に対応します。大規模自治体にはない温かさと機動力で、安心して暮らせるまちづくりを進めています。			
	職員数／平均年齢 (R8.4.1)	全職員数253人（一般行政職196人） 平均年齢（一般行政職）41歳2月		
	職員の女性割合 (R8.4.1)	51.0% ※一般行政職		
	管理職の女性割合 (R8.4.1)	34.8% ※一般行政職		
	時間外勤務の状況 (R7年度)	12.6時間／月 ※一般行政職		
	年休平均取得日数 (R7年)	11.5日 ※一般行政職		
《給与制度》				
給与制度	■初任給（令和8年4月引上げ） 採用前の民間企業等における職務経験年数及びその職務内容に応じ、一定の基準に基づいて個別に決定 《行政の場合》 大卒程度：237,600 円、短大程度：222,600円、高卒程度：206,700 円 ■諸手当（主なもの） ・通勤手当、扶養手当、住居手当（賃貸のみ、上限3.0万円） ・時間外勤務手当、特殊勤務手当（勤務実績に応じた手当） ・期末手当、勤勉手当（いわゆるボーナス、年2回支給 計4.65月分） ■昇給 年1回（4月）			

《福利厚生・子育て支援情報等》		
	福利厚生情報	■勤務日 ・月曜日～金曜日（完全週休2日制） ・土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）は休み ※交代制勤務など一部の所属で変則勤務あり ■勤務時間 ・8時30分～17時15分（7時間45分／日、38時間45分／週） ・12時～13時は休憩時間 ■主な休暇制度 ・年次休暇 20日（4月採用の場合は15日、1時間単位で取得可能） ・夏期休暇 5日（7月～9月に取得可能） ・結婚休暇 7日 ・短期介護休暇 5日（要介護者が2人以上の場合は10日） ・家族看護休暇 5日（職員と同居する義務教育終了前の子が2人以上の場合にあっては、10日） ・介護休暇 6月以内
	子育て支援情報	・不妊治療のための休暇 ・育児休業（3歳未満の子） ・育児短時間勤務（小学校就学前までの子） ・部分休業（小学校就学前までの子） ・妻の出産休暇、育児参加休暇
	働き方改革の取り組み	・各種休暇制度の見直し ・D Xの推進（R 8からD X推進室設置） ・ノー残業デー（毎週水曜日）
《研修制度や異動等》		
	研修制度	新規に採用された年度には、富山県市町村職員研修機構が開催する「新任職員研修を受講するほか、立山町人材育成基本方針に基づき、町独自の様々な研修を受講します。採用2年目以降も、年齢や職務に応じた研修を受講します。
	異動等	全職員を対象に、毎年、次年度に向けた配属先希望調査を行っています。必ずしも希望どおりの部署に配属されるとは限りませんが、本人の希望も加味した上で、適性や能力に応じて職員配置を行っています。
《採用担当/先輩職員の声》		
	採用担当/ 先輩職員の声	立山町では、あなたの“最初的一步”を先輩トレーナーがしっかり支えます。安心して地域と仕事を学べる環境で、一緒に成長しませんか？
《その他PR》		
	採用試験	『学業や就活と並行して準備するのが難しい…』という方も多いと思います。立山町では事務職の一次試験において 専門科目を廃止 したことで、準備の負担を大幅に減らしています。さらに試験日は富山県や富山市と重なることが多く、 受験者が分散して倍率が低めになる ため、合格の可能性が高まる点も魅力です。